

## 質 問 書

※ この MS-WORD 文書のまま送付お願いいたします。(PDF 等のフォーマットへ変換しないでください)

2022 年 5 月 16 日

「(案件名)インドネシア国サイバーセキュリティ人材育成プロジェクト(オープンソースソフト開発/サイバーセキュリティ技術)」

(公示日:2022 年 4 月 27 日/調達管理番号:22a00075)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P12 第6条実施方針及び留意事項(6)CS トレンドセミナーについて	第一回はオンラインとオフラインを併用した開催だが、オフライン会場の出席者への昼食、軽食の見積計上が必要でしょうか。その場合、想定される人数を教えてください。	オフライン会場において、見積計上をお願いいたします。30名の想定です。
2	P14 第7条(2)共通事前学習教材の開発とシラバス修正 2)	「共通事前学習教材の開発とシラバス修正を行い」とありますが、既存教材の修正も実施することになりますか？	共通教材で扱うトピックで、かつ、既存教材で扱う必要性がなくなった部分は、整合性を保ちつつ、当該部分を教材から取り除く作業が必要となる可能性があります。
3	P15 第7条(4)カリキュラム開発及びCS トレンドに関するセミナー実施 3)	「各種メディアを通じ広報を行う」とありますが、どのようなメディアを想定されていますか？特に「第2回CS トレンドセミナー(域内とモンゴルCS 関係者対象)」と、カリキュラム開発セミナー(参加者選定はプロジェクトが行う)については、「候補組織へのメール等での連絡」のような形を想定されますか？	<ul style="list-style-type: none"><li>● 第二回CS トレンドセミナーに関して利用する広報メディアは受注者からの提案を期待します。ご参考までに、プロジェクト側ではLinkedin、Facebook、現地ICT 団体のメーリングリスト、候補組織へ直接メールなどが案として挙がっていました。</li><li>● カリキュラム開発セミナーに関しては、プロジェクト側が広報、及び参加者選定を行うので、基本的に受注者による広報は不要です。</li></ul>

4	P16 第7条 (5) OSS ツール (Mata-elang) 開発体制確立と安定版リリース 1)2)	「OSS 開発マニュアル」を事前に開示いただくことは可能でしょうか？	可能です。
5	P24 2. 業務実施上の条件 (2) 3) 渡航回数の目途	「全3回」は業務従事者1人につき3回(計9回)でしょうか。業務従事者3名で計3回でしょうか。	1人につき3回の想定です。
6	P24 2. 業務実施上の条件 (2) モンゴル案件枠内 3) 渡航回数の目途	「全1回」は業務従事者1人につき1回(計3回)でしょうか。業務従事者3名で計1回でしょうか。	1人につき1回の想定です。
7	P27 4. 見積作成にかかる留意事項 (3) 定額計上について	2) 資料等翻訳料の計上金額を教えてください。	2) 資料等翻訳料は、記載誤りとなります。定額計上ではなく、必要な場合には見積計上をお願いいたします。 企画競争説明書は以下の通り修正します。 【修正前】 1) 現地再委託に係る経費(現地再委託費): 9,000千円 2) 資料等翻訳料 【修正後】 1) 現地再委託に係る経費(現地再委託費): 9,000千円
8	p.12 第6条(6)第1回目 p.13 第6条(8) p.15	p.12、 p.13 にプロジェクト側業務として「オフラインとオンラインを併用した開催とするが、その場合、プロジェクトがオフライン会場提供と、オフライン参加者選定」、「参加者選定及び実施会場手配はプロジェクトが行う」とありますが、p.15 にはコンサルタント業務として「各種メディアを通じ広報」、「参加者リストのとりまとめ」等	CS トレンドセミナーに関し、プロジェクトが行うのは、オフライン参加者の選定のみです。 広報や、オンラインを含めた全参加者リストの取りまとめは受注者業務となります。

	第7条 (4)カリキュラム開発及びCSトレンドに関するセミナー実施3)、4)	の記述があります。 p.15 の業務 は p.12、13 のプロジェクト側業務に含まれているべきものと思いますが、その理解でよろしいでしょうか？	
9	p.14 第6条(11)  p.18 第7条 モンゴル国における予定業務9)	モンゴル国における業務について、P14.には 3 科目の教員トレーニング、現地ニーズ調査、インドネシア成果物の利用にかかる指導、が含まれていますが、p.18 には、共通事前学習教材の選定及び指導、CS トрендセミナーの実施とあります。p.18 の記述は間違いで、モンゴル側業務は p14 の内容を実施すべきものと思いますが、その理解でよろしいでしょうか？ 別紙 1 のとおり、以下 3 点の活動を想定しております。 1. 現地ニーズ調査およびインドネシア教材の利用にかかる指導 2. 教員訓練 3 科目の実施 3. インドネシアプロジェクトへのフィードバック	ご指摘の通り、P.14 の記述が正しい記述です。P18 の記述は以下の通り修正します。 【修正前】 9) 第一回追加現地作業(2023 年 1 月頃を想定) 現地再委託業者との契約 カウンターパートへのワークプランの説明 指導対象共通事前学習教材の選定及び指導 CS トрендセミナーの実施 【修正後】 9) 第一回追加現地作業(2023 年 1 月頃を想定) 現地ニーズ調査およびインドネシア教材の利用にかかる指導 教員訓練 3 科目の実施 インドネシアプロジェクトへのフィードバック
10	p.23 第3章1(3)業務従事予定者の経験、能力 2)業務経験分野等	「サイバーセキュリティ技術」と「ソフトウェア開発技術」の類似業務経験の分野が逆に記載されているように思われます。	ご指摘の通り、逆に記載されておりました。訂正いたします。

11	P12 第6条(6)第1回目	「英語部分はインドネシア語通訳を付ける。」とありますが、講演者が日本語を使用する場合、日本語・インドネシア語通訳を付ける理解でよろしいでしょうか。	そのような理解で問題ありません。
12	p.24 第3章 2. 業務実施上の条件 (3)現地再委託  p.27 4.見積書作成にかかる留意事項 (3)定額計上について 1) 現地再委託に係る経費(現地再委託費)	P27 の現地再委託に係る経費9,000千円は、p24(3)現地再委託のすべての業務を含んだ金額でしょうか。 または、下の2つ(「インドネシア成果物のローカライズ対象の特定」「インドネシア成果物による教員訓練」)は含まない金額でしょうか。(これら2つはモンゴルにおける業務であり、別見積と思われるため。)	「現地再委託に係る経費9,000千円」は、インドネシアにかかる業務分のみです。
13	p.27 4.見積書作成にかかる留意事項 (3)定額計上について 2) 資料等翻訳料	資料等翻訳料の金額について記載がありません。共有お願い致します。	No.7 の回答をご参照ください。

以上